

バスの停留所

路線バスの停車による後続車両の滞留を発生させないよう、バスベイの設置を基本に検討します。

路線バスの大きさや植樹帯の一部カットなどの観点から検討します。

バスベイ型の例



大分県大分市

植樹帯

街路空間の美化と環境良好な市街地形成のため、植樹帯の設置を基本に検討します。

植樹帯の設置は、交差点部、バスベイ、利用者の視距確保、などの観点から検討します。



ご意見いただきたい6つのポイント

- ①車線数
- ②右折専用車線
- ③沿道の出入り
- ④自転車・歩行者空間の確保
- ⑤バスの停留所
- ⑥植樹帯

〈 連絡先 〉 大分県大分土木事務所 企画調査課

TEL:097-558-2142 FAX:097-558-9141 e-mail:a17004@pref.oita.lg.jp

〈 平成 25 年 4 月 作成 〉

国道442号 宗方・植田地区の 意見交換会

◆はじめに

大分県では、松が丘団地入口交差点～萌葱台団地入口交差点間における一般国道 442 号 宗方・植田地区について、道路改良計画検討の段階から皆様のご意見をお聞きしながら、計画づくりを進めていきたいと考えています。

当区間は、周辺地域における住宅団地開発や土地区画整理事業による商業拠点開発に伴い、交通状況、沿道建物や周辺住宅地の状況、道路に求められるニーズなどが大きく変化していることから、それに対応する道路計画の検討が必要となっています。

◆当該区間の主な課題は以下の通り



■国道 442 号の道路利用者の意見

- ドライバーは、自転車との接触の危険性を感じています。
- 自転車利用者は、自動車との接触の危険性を感じています。
- 歩行者は、自転車との接触の危険性を感じています。

提供資料：国道 442 号「宗方・植田区間」整備促進期成会



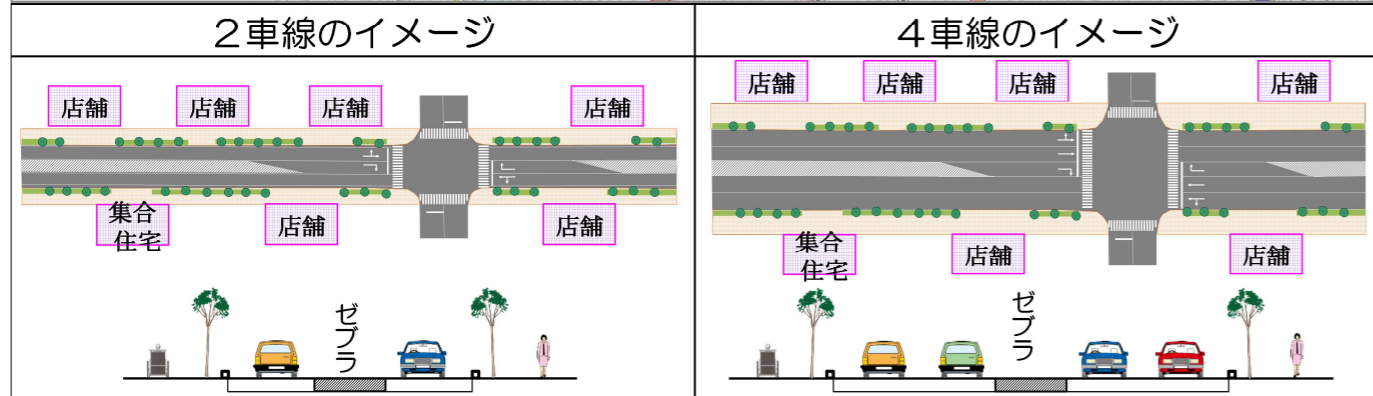
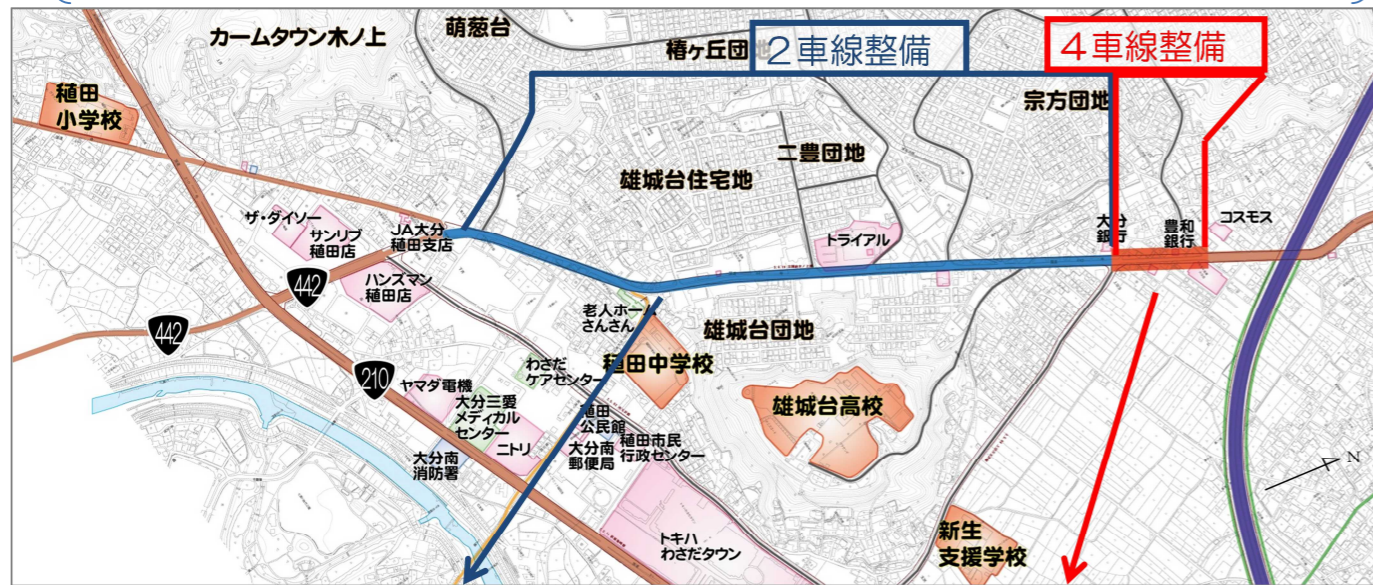
大分県大分土木事務所

ご意見いただきたい6つのポイント

車線数

松が丘団地入口交差点から大分銀行前交差点までは4車線整備、大分銀行前交差点から旧道入口交差点までは2車線整備を基本に検討します。

近年における国道210号ホワイトロードや市道上宗方玉沢線の整備により、交通の分散が図られ、国道442号の大分銀行前交差点～萌葱台団地入口交差点間においては2車線で十分処理可能な交通量となっているなど、今後の交通見通しの観点から検討します。



右折専用車線



右折待ち車両による後続車両の滞留を発生させないように、信号交差点毎に右折専用車線の設置を基本に検討します。



国道442号は、信号のある交差点であっても右折専用車線が少なく、渋滞をまねいています。

沿道には店舗が多い反面、右折専用車線が少ないため後続の車両が前に進めません。



国道442号「宗方・穂田区間」整備促進期成会 からの声

沿道の出入り

沿道店舗等へ右折して入る右折待ち車両に起因する後続車両の渋滞解消のため、道路の中央部分へのゼブラゾーン設置を基本に検討します。



国道442号では、大型スーパーへの進入車両が道路をふさぐため、本線上で渋滞が発生しやすくなっています。



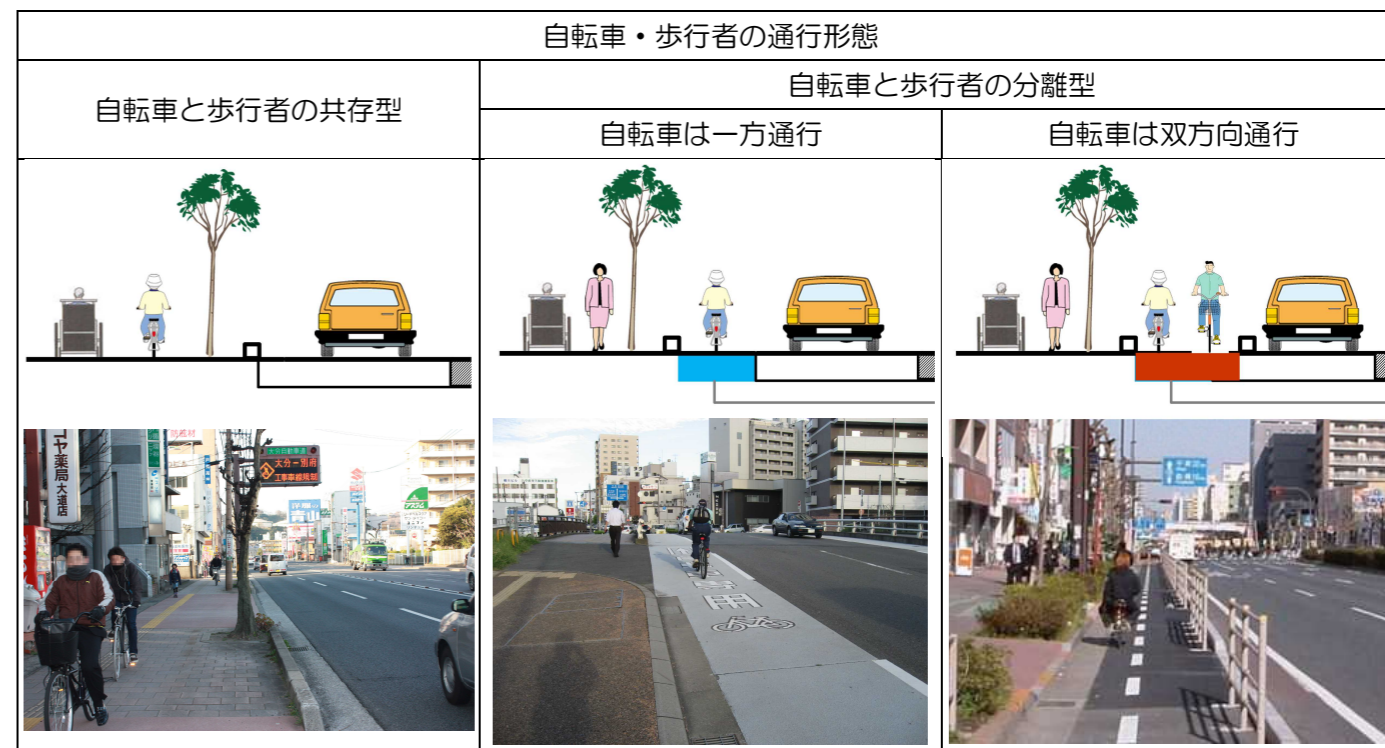
進行方向の右側沿道の店舗へ行きたくても右折できない状況が往々にしてあります。

国道442号「宗方・穂田区間」整備促進期成会 からの声

自転車・歩行者空間の確保

車道部における自転車と自動車の混在解消、歩行者と自転車の接触危険性抑止のため、十分な幅員の自転車・歩行者空間整備を基本に検討します。

歩行者、自転車、車椅子利用者のすれ違いに十分な幅員確保、或いは自転車専用の通行帯設置などの観点から検討します。



国道442号は、歩道が未整備、或いは狭いために、バスやトラックが通る時、自転車や歩行者は常に怖い思いをしています。

自転車は狭い歩道を利用する人もいます。自転車が通れば、歩行者は歩道を歩けません。



国道442号「宗方・穂田区間」整備促進期成会 からの声